世田谷区

保護司に興味はありませんか？

保護司は、<u>犯罪をした人や非行のある若者の立ち直りを支える</u>
<u>ボランティア</u>で、全国に約４万５千人います。
＊非常勤の国家公務員として法務大臣から委嘱されます。



更生保護マスコットキャラクター
ホゴちゃん

保護司ってどんなことをするの？

保護司は、保護観察を受けている人の立ち直りを支援する「**処遇活動**」と、地域の方々に立ち直り支援への理解と協力を求める「**地域活動**」の２つの活動を主に行います。

処遇活動

犯罪や非行をして保護観察を受けている人と月に2～3回程度面接をし、彼らの相談に乗ったり、約束事（遵守事項）を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の援助などを行い、社会復帰を支援します。

処遇活動は、犯罪者処遇の専門家で、国家公務員である保護観察官と協働して行います。



地域活動

犯罪や非行のない地域社会を築くため、毎年７月を強調月間として、“社会を明るくする運動”を行っています。

同運動において地域の方への啓発イベントを実施するなど、様々な広報活動に取り組んでいます。

また、区内小中学生への講話など学校等と連携した活動も行っています。



保護司について知りたいときは？

保護司に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

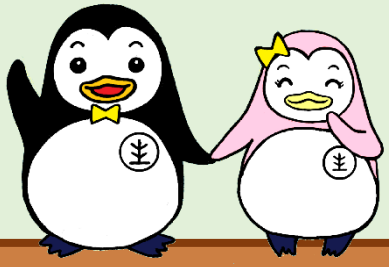
ご連絡お待ちしています！



【法務省　東京保護観察所】
東京都千代田区霞が関１－１－１　電話：０３－３５９７－０１２０

【世田谷区保護司会】（世田谷区更生保護サポートセンター）
東京都世田谷区若林４－３７－８　ひだまり友遊会館内
電　話：０３－６４５０－７２８５（平日：10時～16時）
ＦＡＸ：０３－６４５０－７２９５

保護司をされている方の声





① 世田谷区保護司会 玉川分区　古澤　昇さん（元区立小学校校長）

定年退職をきっかけに、何か社会貢献をしたいと思っていたところ先輩保護司から声がかかりました。犯罪者対応と聞き、少し怖い気もしましたが、とてもやりがいのある仕事だと思い引き受けました。

保護観察の初仕事は半年後でした。先輩保護司からの助言を参考に保護観察を続け、刑期完了した時の安堵感は忘れられません。保護観察を行っている間も、地域での広報活動や刑務作業製品の販売などの活動を行っています。

“相手の話を親身になって聞いてあげられる人”それは、あなたです。保護司をやってみませんか。

② 世田谷区保護司会 成城分区　堀内　一昭さん（元世田谷区職員）

学生時代の旧友が先に保護司になり、その影響で自分もと思い、始めました。決心したのはNHK ドラマ「生きて、ふたたび　保護司・深谷善輔」を観て感動したからです。一緒に観ていた妻に恐る恐る切り出したところ、あっさり賛成され、背中を押されました。その後世田谷区保護司会に配属され、今は少しでも早く保護司会の活動を理解して何かお役に立てるよう努力することと、実際に更生保護の案件依頼があった場合に備えて勉強を続けることが大切と思っています。

もしも、保護司をやれるか迷っている方がいらっしゃるなら、まず一歩を踏み出しましょう。わからない事は保護観察所や先輩保護司に尋ねることです。きっと親切に対応して下さるはずです。

③ 世田谷区保護司会 世田谷分区　岡田　芳廣さん（元区立中学校校長、現大学教授）

皆様は退職後の第二の人生をどのように過ごそうとお考えでしょうか。今まで行けなかった海外旅行に、趣味の時間になど考えているのではないでしょうか。

私は中学の教員を定年退職したとき、PTA会長から保護司を誘われました。保護司の方には初任校で元気過ぎる生徒たちの指導でお世話になっていましたので、恩返しのつもりでお受けしました。保護司は面接を通して、罪を犯した人の更生と社会復帰を後押しします。また、更生した人たちを差別することなく受け入れる心優しい社会づくりの活動も行います。ともにボランティア活動ですが、とてもやりがいのある仕事です。

私は保護司と同時に大学で働いています。古希となり、残りの人生は保護司として社会と関わり、少しでも貢献できればと考えています。皆様方とともに活動できることを楽しみにしています。